



Sodick



Grow Forward  
in the Next Era

# Sodick Times

2025年12月期(第50期)事業報告書

2025年1月1日～2025年12月31日

SPECIAL  
FEATURE

中期経営計画(2026-2029)

株式会社 ソディック

東証プライム：6143

## 50年の歩みを力に、 世界のモノづくりと 未来を創っていきます

代表取締役 CEO 社長執行役員  
环 祐次



### ▶ 主力事業が堅調に推移し、2025年12月期の業績は大幅な増収増益となりました

株主の皆様には平素より格別のご厚情を賜り、厚く御礼申し上げます。

2025年12月期は、工作機械事業を中心に主力事業が堅調に推移し、前期比で大幅な増収増益となりました。売上高は805億72百万円(前期比9.4%増)、営業利益は42億24百万円(同89.4%増)、経常利益は52億31百万円(同44.2%増)、当期純利益は45億14百万円(同9.7%増)となりました。地政学的リスクや関税政策の影響から、先行

きの不透明感が継続しているものの、生成AI普及に伴うデータセンター向け光コネクタを中心としたAIインフラ投資や、航空宇宙関連の設備投資の拡大などによる需要が堅調に推移しました。当社では、当該分野の需要は今後も拡大基調が続くものと見込んでおります。こうした事業環境の変化を的確に捉え、持続的な成長と企業価値向上を実現すべく、当社では中長期視点での成長戦略の推進に取り組んでおります。

## ▶ 次の50年への指針として制定した理念体系のもと、売上高1,000億円の達成を目指します

2026年8月、当社は設立50周年を迎えます。これまで当社の成長を支えてくださった株主の皆様には心より感謝申し上げます。

昨年は、経営管理体制の高度化やグローバル戦略の加速を目的に、経営戦略の実行力を一段と高め、持続的な成長のための基盤強化を図ってまいりました。こうした変革を進める中で迎える設立50周年という節目を、これまでの50年を礎に、次の50年に向けた成長をより明確に打ち出す重要な転換点と位置づけています。この節目にあたり、次の時代を切り拓いていくという決意を示すため、「Grow Forward in the Next Era ―新たな時代の中でさらなる成長へ―」を50周年のテーマとして掲げました。そして、次の50年に向けて当社が目指す姿として、新たな理念体系(PURPOSE、MISSION、VISION、VALUE)を制定いたしました。

この理念体系のもと、当社が目指す姿を明確に示したものが中期経営計画です。2026年12月期より、中長期の方針に基づき着実な成長を達成していくため、期間を4年としたコミットメント型の計画とし、2029年12月期のありたい姿として、売上高1,000億円、営業利益100億円を掲げました。これは当社が今後の持続的な成長を目指す上でのファーストステップです。非常に高い目標ではありますが、

さらなる成長を成し遂げるためには必ず達成しなくてはならない通過点です。何よりも、明確な数値目標を掲げることで、会社として、各事業として、そして従業員一人ひとりがやるべきことが明らかになり、具体的な行動へとつながります。そうした一つひとつの行動が当社の成長には何よりも欠かせないものであると考えています。その結果として、中期経営計画を実現することで、全ての国や地域、あらゆる産業のモノづくりにおいて不可欠な存在となることを目指し、モノづくりの進化と持続可能な社会の発展に貢献してまいります。

### ■ 中期経営計画の各種指標

	25年12月期 実績	26年12月期 予想	29年12月期 目標	25年12月期 →29年12月期
売上高	805億円	885億円	1,000億円	+5.5%/年
営業利益 営業利益率	42億円 5.2%	55億円 6.2%	100億円 10.0%	+24.0%/年 +4.8pt
PBR	0.5倍	—	1.0倍	+0.5倍
ROE	5.2%	5.6%	8.0%	+2.8pt
EPS	89円	100円	130円	+41円

## ▶ 配当方針を見直し、株主の皆様へより一層の還元を目指します

中期経営計画に掲げた損益目標および財務指標の達成に向け、資本効率の向上と企業価値の持続的な成長を明確に示すとともに、株主の皆様との中長期的な利益分配をより強化することが重要であると考えております。そこで、配当については減配を行わないことを基本とする累進配当方

針を採用するとともに、中期経営計画期間の4年間は総還元性向70%以上を目標とする方針へ見直しを行いました。

今後、株主還元の透明性と予見性を高めてまいりますので、株主の皆様には、一層のご理解と当社へのご支援を賜りますようお願いいたします。

# 中期経営計画(2026-2029)

## 4年後のありたい姿から描く成長戦略

これまでのローリング型の計画を見直し、4年後のありたい姿から逆算するコミットメント型の中期経営計画へと再構築いたしました。本計画は2026年12月期から2029年12月期までの4年間を対象とし、最終年度となる2029年12月期に売上高1,000億円、営業利益100億円の達成を目標としております。また、資本効率のさらなる向上に向けて、PBR・ROE・EPSなどの主要財務指標について

では、可能な限り早期の達成を目指してまいります。

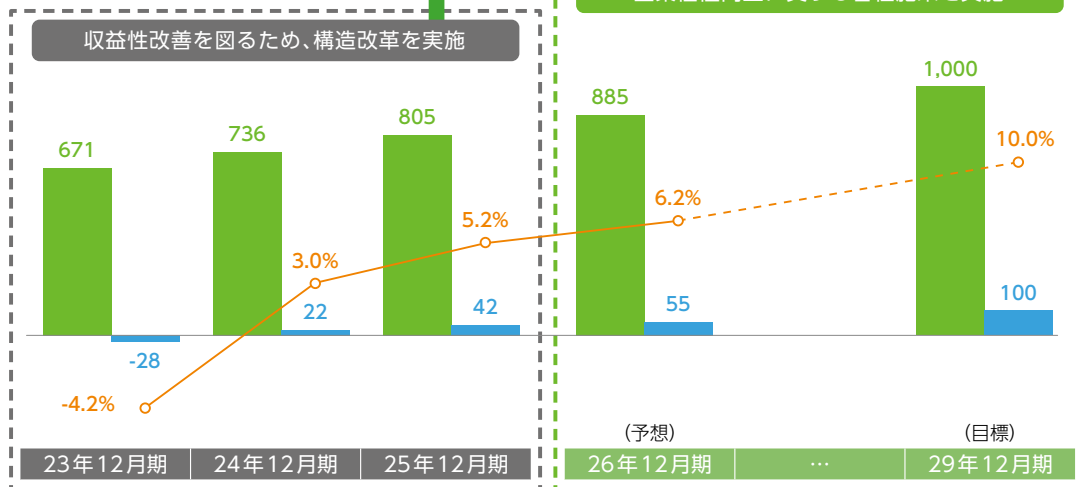
構造改革や高付加価値領域へのシフト、販売力・ソリューション強化、在庫適正化、M&Aなどの施策を引き続き徹底して推進し、実行力をさらに高めることで、持続的な企業価値向上を実現してまいります。

なお、各事業における具体的なアクションプランは2026年5月以降に順次開示する予定です。

	従来型の中期経営計画	中期経営計画(2026-2029)
期間と目標設定	単年度予想を積み上げた3年計画	4年後(29年12月期)のありたい姿から逆算した挑戦的な目標
重点領域	売上高・営業利益などのPLが中心	ROE・PBRなど企業価値向上に資する指標を重視
進捗確認	3か年計画を毎年見直し(ローリング方式)	<ul style="list-style-type: none"> <li>ローリング方式を廃止</li> <li>各種指標の進捗はモニタリングし開示</li> <li>アクションプランを確実に実行</li> </ul>

アドバンテッジパートナーズ社の経営ノウハウ・ネットワークを吸収・獲得し、持続的な企業成長へソディックが自走

29年12月期に向けた中期経営計画  
アドバンテッジパートナーズ社と共に企業価値向上に資する各種施策を実施



(単位: 億円)

■ 売上高  
■ 営業利益  
—○— 営業利益率

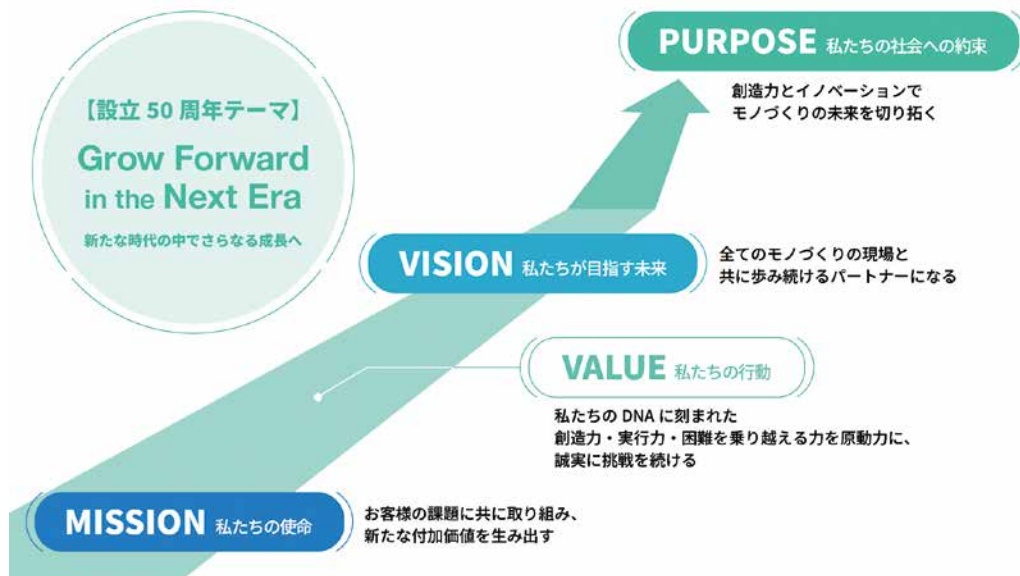
## ● ソディックグループの理念体系

設立50周年を節目に、次の50年に向けて当社が目指す姿をより明確にするため、新たな理念体系を制定しました。これは、グローバルな当社グループの全社員が、同じ方向を向いて挑戦を続けていくための指針となるものです。進化する時代の中で果敢に挑戦を続け、持続的な成長

とさらなる企業価値の向上を目指してまいります。

理念体系に込めた思いやブランドストーリーの詳細は、当社Webサイトにてご紹介しています。

<https://www.sodick.co.jp/company/brand-story/>



### 🌀 設立 50 周年記念ロゴに込めた思い 🌀

放電のスパークをモチーフに、ゼロの円の内部から創造の力が広がり、新しい世界が次々と生まれていくイメージを表現しています。50周年を記念した特設サイトでは、周年テーマとともに、当社のこれまでの歩み等をご紹介しています。ぜひご覧ください。

<https://50th.sodick.co.jp/>



**50<sup>th</sup>**  
Grow Forward  
in the Next Era

## 蘇州テクセンター開設

## 顧客の自動化・DXニーズに応えるサービス・ソリューション拠点へ



▲ 外観写真

2025年12月、中国国内のお客様へのソリューション提供を強化する拠点として、「蘇州テクセンター」を開設しました。これは、当社の構造改革の一環として、中国での生産機能を廈門工場へ集約し、蘇州工場をソリューションセンターへ再編したことによるものです。

同センターでは、電極・ワーク自動交換ロボットの開発や、中国国内の消耗品の一括管理に加え、中華圏の販売会社の事務所機能を併設することで、今後の市場ニーズに迅速に対応できる体制を整えています。これにより、効率化による生産性向上と顧客満足度のさらなる向上を図るとともに、地域経済の発展にも貢献してまいります。

## Tech News

進化を続けるソディックの研究開発と技術の情報をわかりやすくお伝えします

超精密ワイヤ放電加工機「EXC100L+」  
日刊工業新聞創刊110周年特別賞 受賞

製品情報はこちら

超精密ワイヤ放電加工機「EXC100L+」が第68回/2025年 十大新製品賞において日刊工業新聞創刊110周年特別賞を受賞しました。

同賞は応募企業がその年に開発または実用化した新製品の中から、モノづくりの発展や日本の国際競争力強化に役立つ製品を日刊工業新聞社が選定し、表彰するものです。



▲ 「十大新製品賞」贈賞式 (左端: 塚社長)

通電コマ自動送り機能「ACPS」  
“超”モノづくり部品大賞  
機械・ロボット部品賞 受賞

製品情報はこちら

通電コマ自動送り機能「ACPS」が第22回/2025年 “超”モノづくり部品大賞において機械・ロボット部品賞を受賞しました。

同賞は、日本のモノづくりの競争力向上や産業・社会の発展に貢献する優れた部品・部材を表彰するものです。



▲ 「“超”モノづくり部品大賞」贈賞式 (左端: 古川会長)

## 開発者 Interview

通電コマ自動送り機能

# 「ACPS (Automatic Conductive Piece Shifter)」 開発秘話

当社は、ワイヤ放電加工機において、「通電コマ」の位置を自動で調整する機能「ACPS (Automatic Conductive Piece Shifter)」の販売を開始しました。この機能により、作業の省力化や機械の稼働率向上につながり、生産性の向上に大きく貢献します。

今回は、「ACPS」の開発に携わった井上浩利さんのインタビューを通して、開発の裏側をご紹介します。



動画はこちら



◎ この機能を開発した背景について教えてください。

① ワイヤ放電加工では、ワイヤ線に電力を送る「通電コマ」が約50時間で摩耗し、手動で位置を調整しながら使用します。しかし、この作業は加工を止めて行う必要があり、特に長時間加工の現場では大きな負担となっていました。こうした課題を解消し、メンテナンスの手間を減らすだけでなく、通電コマをより効率的に使い切れる仕組みを実現するため、ACPSを開発しました。

◎ ACPSの最大の特長は何ですか？

① 加工を止めずに通電コマの位置を自動で更新できる、業界初の機能です。さらに特許技術を用いたコンパクトな構造により、必要なタイミングで確実に自動送りが行えます。これにより、作業負担の大幅な軽減と加工の安定性という、現場が求めている課題解決に大きく貢献することができました。

◎ 開発で苦労した点を教えてください。

① ワイヤ放電加工では、スラッジ（加工時のくず）が加工液の中に浮遊し、機構部品へ入り込むと動作不良の原因になります。これを防ぐ構造づくりが最大の難所でした。設計が難航する中で、加工液の侵入を防ぐ仕組みの画期的なアイデアを思い付いた瞬間が大きな転機となりました。この構造により、過酷な加

工環境に耐えられる機能を実現できました。

◎ 導入によってどんなメリットがありますか？

① 通電コマを無駄なく使えるようになるため、消耗品の寿命延長や廃棄物削減といった効果が期待できます。また、摩耗によるワイヤ断線や加工精度の低下を防ぐことで再加工も減り、製造工程全体の効率化にもつながります。環境負荷の低減と生産性向上の両方を実現できる、持続可能なモノづくりに貢献する重要な技術だと考えています。

◎ ACPSに込めた思いを教えてください。

① ACPSには「お客様の声に応えたい」という強い思いが込められています。通電コマのメンテナンスは現場で大きな負担でした。その課題を根本から解決し、安心して加工に集中できる環境をつくりたいという思いで開発しました。まずはオプションとして提供しますが、今後はより多くのお客様にこの価値を届けていきたいと考えています。



放電技術部 技術3課  
課長  
井上 浩利さん  
いのうえ ひろとし

## 展示会で伝えるソディックのモノづくり

国内外の展示会や自社でのプライベートショーを通じて、当社のモノづくりを直接お伝えしています。実機をご覧いただきながら技術力を体感していただくことで、新たな商談の創出や

市場認知の向上にもつながっています。今後も展示会を通じた市場への発信を継続し、当社製品の価値と技術的優位性を広くお届けしてまいります。

### EMO Hannover 2025



世界最大級の工作機械展示会「EMO Hannover 2025」(ドイツ・ハノーバー)に出展しました。部品の向きを自動で調整しながら複雑形状に対応する加工デモなど、航空・医療分野での部品加工に重点を置いた展示を行いました。

### メカトロテックジャパン 2025



日本最大級の工作機械見本市「メカトロテックジャパン 2025 (MECT2025)」に出展し、自動化や金属3Dプリンタ、循環型技術など、当社が注力する最新ソリューションを紹介しました。製造現場の効率向上と持続性を両立する取り組みに、多くの来場者から関心をいただきました。

### ソディック金属3Dプリンタプライベートショー



当社加賀事業所にて、金属3Dプリンタのプライベートショーを開催しました。全ラインアップの実機展示はもとより、多種多様な造形サンプルの紹介に加え、ユーザー企業様にも協力いただき、実際の造形品展示やセミナーを通じて、量産現場での活用イメージを深めていただく機会となりました。

➡ 詳細レポートは“Sodick REPORT 2026年 Vol.1 (Web版)”でご覧いただけます  
<https://www.sodick.co.jp/media/report/>



## 株主還元方針

当社は、中長期的な企業価値の向上を目指し、将来の成長投資と株主還元の充実を両立させることを資本政策の基本方針としています。このたび、中期経営計画の策定にあたり、2026年12月期より株主還元方針を刷新しました。

新方針では、原則として減配を行わない累進配当方針を採用します。中長期的には、総還元性向40%以上を目安に、配当と自己株式取得を組み合わせた株主還元を行ってまいります。

また、中期経営計画の対象期間である2026年12月期から2029年12月期までの4年間は、期間全体の総還元性向70%以上とした、より積極的な株主還元を実施してまいります。

さらに2026年8月に設立50周年を迎えることを記念し、1株当たり6円の記念配当を実施する予定です。これにより、2026年12月期の中間配当は普通配当14

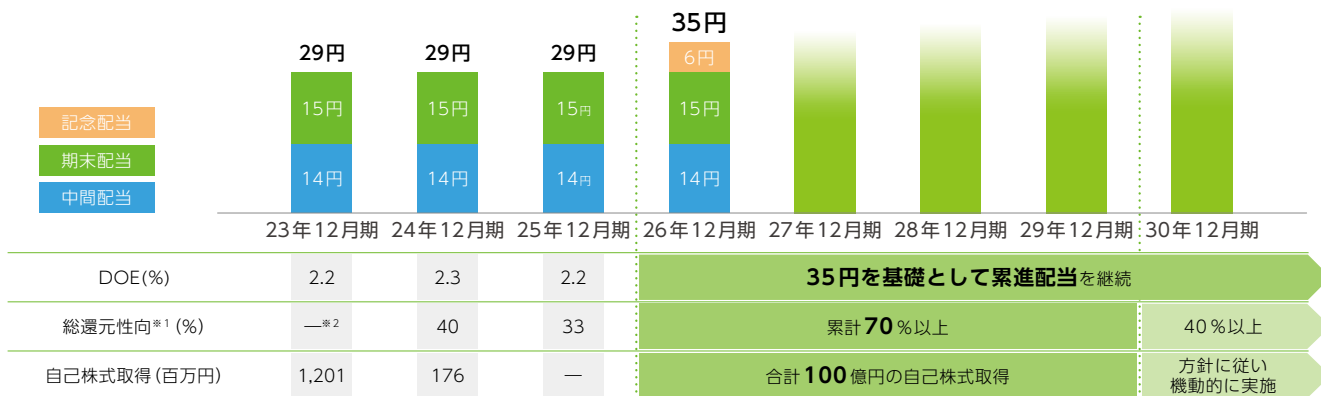
### 株主還元の方針

	配当	総還元性向
変更	累進配当	中期経営計画期間(2026-2029) <b>70%以上</b>
		基本方針 <b>40%以上</b>
従来	DOE 2.0%以上	40%以上

円に記念配当6円を加えた20円、期末配当は普通配当15円とし、年間配当金は1株当たり35円を計画しています。

なお、記念配当を含めた2026年12月期の年間配当水準(35円)を翌期以降の基礎配当水準と位置付け、安定的な配当水準の維持とさらなる向上を目指してまいります。

### 一株当たり配当金推移

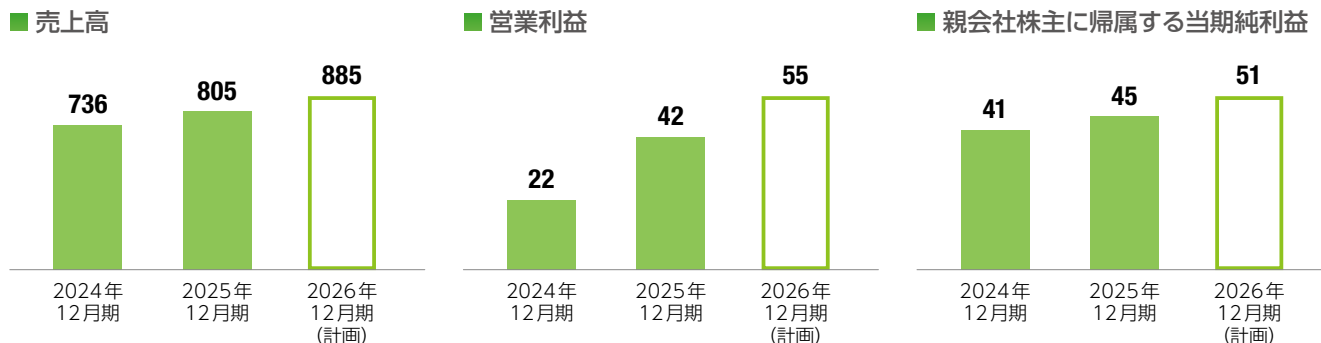


※1:実績の計算式:総還元性向 =  $\frac{n\text{年度の配当} + n\text{年度の自己株式取得額}}{n\text{年度の当期純利益}}$

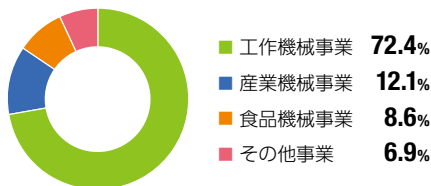
※2:2023年度は純利益がマイナスであり、総還元性向がマイナスと計算されるためハイフンにて表示

# 業績・財務ハイライト

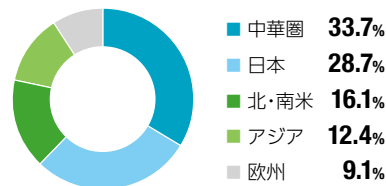
## 連結損益計算書の概要 (単位: 億円)



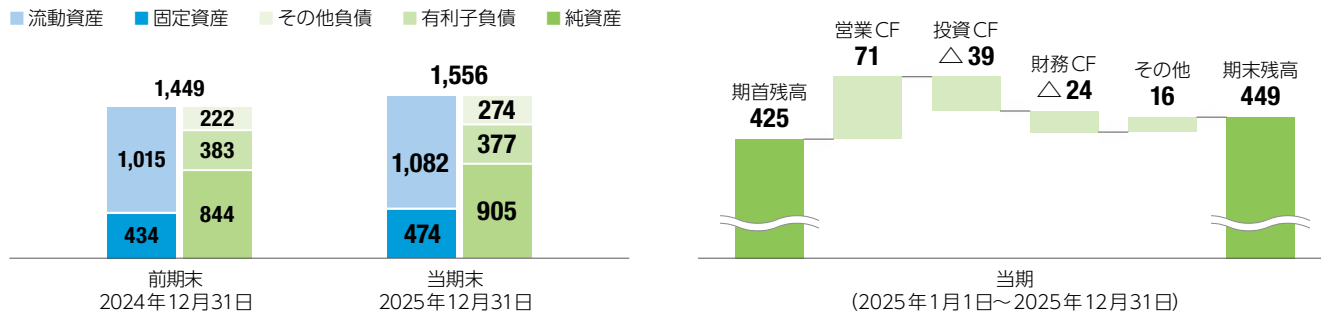
## セグメント別売上高構成比 (2025年12月期)



## 地域別売上高構成比 (2025年12月期)



## 連結貸借対照表の概要 / 連結キャッシュ・フロー(CF)計算書の概要 (単位: 億円)



IRサイトでさらに詳しく

IRサイトでは、決算短信、決算説明資料など詳しい決算情報をご覧になれます

[https://www.sodick.co.jp/ir/ir\\_note.html](https://www.sodick.co.jp/ir/ir_note.html)

ソディックIR

検索



## 株式情報

発行可能株式総数	150,000,000株
発行済株式総数	54,792,239株
株主数	14,711名

## 所有者別株式分布状況



## 株主メモ

事業年度	1月1日～12月31日
株主確定日	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 定時株主総会、期末配当金:12月31日</li> <li>● 中間配当金:6月30日</li> </ul>
定時株主総会	毎年3月
公告の方法 (公告掲載URL)	電子公告により行う <a href="https://www.sodick.co.jp/ir/ir-f.html">https://www.sodick.co.jp/ir/ir-f.html</a> ただし、電子公告によることができない事故、 その他のやむを得ない事由が生じた時には、 日本経済新聞に公告いたします。

## 大株主

株主名	所有株式数(株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	6,901,000	12.59
株式会社ソディック	4,144,554	7.56
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	3,938,700	7.19
JPモルガン証券株式会社	1,343,792	2.45
森田 清	1,190,070	2.17
ソディック共栄持株会	1,046,500	1.91
ソディック従業員持株会	959,876	1.75
有限会社ティ・エフ	895,000	1.63
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505223	867,556	1.58
株式会社三井住友銀行	850,000	1.55

株主名簿管理人	三井住友信託銀行株式会社
おおよび特別口座の 口座管理機関	
郵便物の送付先	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 TEL 0120-782-031 (通話料無料)
電話お問合せ先	
ホームページアドレス	<a href="https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/">https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/</a>
上場証券取引所	東京証券取引所 プライム市場 証券コード:6143

## 「統合レポート2024」を公開しています

ソディックグループの事業戦略や価値創造プロセス、サステナビリティへの取り組みをまとめた「統合レポート2024」を公開しています。ステークホルダーの皆様への情報提供の一環として、2025年も引き続き発行を予定しています。ぜひあわせてご覧ください。

[https://www.sodick.co.jp/ir/ir\\_annual.html](https://www.sodick.co.jp/ir/ir_annual.html)



▲ 詳しくは  
こちら



# 会社情報 (2025年12月31日現在)

会社名	株式会社ソディック	資本金	246億18百万円
所在地	本社 〒224-8522 横浜市都筑区仲町台三丁目12番1号 TEL:045-942-3111(代表)	代表者	坏 祐次
設立	1976年8月3日	従業員数	1,173人(連結3,272人)
		連結子会社	21社
		持分法適用の関連会社	1社

## 役員 (2026年3月30日現在)

代表取締役会長	ふるかわ けんいち 古川 健一	社外取締役	ごとう よしかず 後藤 芳一*
代表取締役 CEO 社長執行役員	あくつ ゆうじ 坏 祐次	社外取締役	さの あやこ 佐野 綾子*
取締役 専務執行役員	つかもと ひでき 塚本 英樹	取締役 監査等委員	かわはら てつあつ 河原 哲郎
取締役 常務執行役員	たかぎ まさと 高木 正人	社外取締役 監査等委員	おおたき まり 大滝 真理*
社外取締役	かずなお くどう 工藤 和直*	社外取締役 監査等委員	ごうはら ほんちか 郷原 玄哉*
社外取締役	けんぞう のなみ 野波 健蔵*	社外取締役 監査等委員	おおむら ゆきこ 大村 由紀子*

\*東京証券取引所の定める独立役員であります。

## ソディック ホームページ 「IR情報」のご案内

株主・投資家様向けの情報を  
開示しています。ぜひご覧ください。

<https://www.sodick.co.jp/ir/>

## コーポレートサイト



## IRサイト



株式会社 ソディック

〒224-8522

横浜市都筑区仲町台三丁目12番1号

TEL:045-942-3111